

『ひがしくさんぽ』

～東区にまつわる情報をお伝えします～

「地域とつくる防災」

みなさんは、「校区防災連絡会」や「避難所運営委員会」という言葉を聞いたことはありますか？

熊本地震のような大規模災害が発生した時は、地域と行政が協力して災害対応を行うことが不可欠です。熊本市内で最も震源に近く被害も大きかった東区では、その経験を踏まえ、地域の防災組織を支援し、大規模災害時の初動体制について日頃から協議しています。

「校区防災連絡会」は、小学校区ごとに組織され、校区として災害にどう備えるか事前に話し合う大事な会議の場です。東区内の18校区全てに設置されています。

「避難所運営委員会」は、小中学校などの指定避難所ごとに組織されています。災害時には避難所運営本部となり、避難所運営をはじめ、避難者の情報収集、物資の供給といった役割も担います。平時には災害発生を想定した避難所運営の訓練や研修を実施しており、東区内37か所全ての指定避難所等に設置されています。

このように各校区で防災への取組が行われています。みなさんもしもに備えてお住いの地域で行われる防災訓練にぜひ参加してみてくださいね。



桜木東校区の校区防災連絡会の様子

(東区役所総務企画課 367-9121)